

島のひろば

2018年12月15日

日本共産党

新島支部・式根島支部

連絡先：綾とおる 7-0381

綾とおる 東京都に要請を行ってきました

アンケート結果を示し、島の皆さんの声を届けました



東京都への要請をおこなう綾とおる（写真中央）。
左隣は笹岡・利島村議と橋本・大島町議。右隣が徳留、原両都議会議員。（11月27日・東京都庁）

日本共産党東京都島しょ議員団と党東京都委員会は、去る11月27日、島しょ地域の暮らし、営業、命と健康を守り「東京都離島振興計画」の実現のために、都がその役割を果たすよう小池百合子都知事に要望書を提出しました。

要請には、原のり子、徳留道信とくとめみちのぶの両都議と党新島村政対策責任者の綾とおる（新島村議選予定候補）、利島村の笹岡寿一議員、大島町の橋本博之議員が出席しました。

綾とおるは、①港の改善、②医療費負担補助と医療の充実、③子どもの教育環境の充実の3項目で、先の村内全戸配布でのアンケートでもお寄せいただいた住民の切実な要求項目について説明し、強く要望しました。

裏面に、要請のおもな項目を掲載しています。ぜひご覧ください。

若郷漁港の仮設トイレは資材選定中

若郷漁港の仮設トイレは、10月の都議会各会計決算特別分科会で共産党の原田あきら都議の質問に対して、船客待合所の整備を待つことなく設置すると答弁がありました。これについて質したところ、都では現在、多数のトイレ資材から選択中であるとの回答がありました。

式根島港の船客待合所はまもなく修理

式根島港船客待合所の台風被害の修理については、資材を発注済みとのことでした。エアコン設置とトイレ改修については利用状況を見て対応したいとの回答を得ました。

野伏漁港の新船客待合所の建設は、現在、入札不調となり時期未定となっているとのこと。

島外通院交通費助成への支援

新島村でも通院のための交通費などの助成が始まろうとしていますが、島しょの自治体は財政的にも苦しく、都としても島民の暮らしを守るために通院費助成に財政的支援をと、お願いしました。

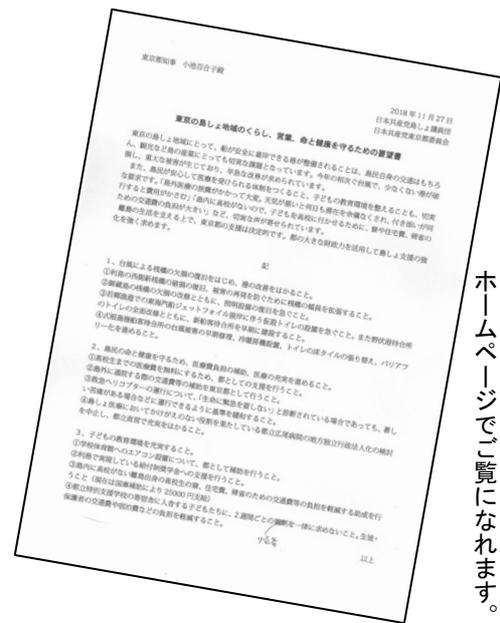
しかし、回答は、従前から要望があることは認識しているが福祉、保健行政としては行う考えはないという冷たいものでした。

この問題については、島民の通院実態を訴え、引き続き強く要望していきます。

学校体育館へのエアコン設置

学校の授業や行事だけでなく、地域の社会体育や文化活動、そして、災害時の避難場所として活用されることもある学校体育館へのエアコン設置を共産党は従来から求めてきました。今年度の東京都の補正予算では、そのための都から自治体への財政支援が実現しました。

これについて、さらなる支援を求めたところ、都では自治体への補助金の上積みを計画しているので、この制度を活用して各学校体育館のエアコンの整備を進めてほしいとのことでした。



東京都への要請書は綾とおるのホームページでご覧いただけます。

広尾病院の独立行政法人化「まだ決まっていない」

民間医療では採算が合わないと言われる行政的医療（災害・感染症・精神科救急・小児特殊医療・難病・島しょ医療など）に対して東京都は必要な予算を支出し、地域医療を守ってきました。

しかし、独立採算制をとる地方独立行政法人になれば経済性が優先され、質の低下や患者負担の増加につながりかねません。だから私たちは、経済的な負担なく安心して医療が受けられるよう地方独立法人化をやめることを強く要望しました。

「すでにその方向で進めています」との回答かと思いましたが、意外にも実際言われたのは、都としては病院経営委員会が打ち出した地方独立行政法人化を検討中であるが決めたわけではない、ということでした。

私は、いま進めている署名運動を強め、島じゅうから「都立広尾病院を守れ」の声をあげていくために力を尽くそうと、決意をあらたにしました。

要請を終えて 綾とおる ホームページ <http://www2.jcp-tokyo.net/aya>

まだまだ東京都には島民の置かれている実態が伝わっていないと思いました。同時に、島が一丸となって声をあげていけば、その声は東京都をも動かすことができると実感しました。これからも都議団と一緒に、島のみなさんの声を届けるためにがんばります。